

第1会 みづな会 俳句会 季題「花見」			2012年4月20日	
番号	詠句	作者	講評	
1-1	春あらし シート飛ばされ 花見席	H.S	○	
1-2	春の野に 共に芽を出せ わが息子	M.S	○	
1-3	お花見を 一日楽しむ 土手歩き	H.Y		
2-1	君子蘭 父母去りてなお 咲にけり	K.O	○○○	
2-2	日に新た 勢い増す 芽吹き山	H.N	○○	
2-3	土産なる 桜きんつば 夫(つま)と分く	E.T	○	
3-1	青空に 緑を描く 若葉かな	A.T	○	
3-2	ひとひらの 花ひろいおり 小さな手	M.S	○	
3-3	馬鈴薯植る 畝の先に フキノトウ	H.Y	○○○	
4-1	空(くう)ならず 梅の香ほのか 写経の日	K.O	○	
4-2	膝元に 指折り一句 白き富士	E.T		
4-3	春の宵 花にも美酒にも 夢心地	H.S		
5-1	蒲公英(たんぽぽ)の 庭に群れつつ 白と黄色	A.T	○	
5-2	飛花落花 別れ一片(ひとひら) 屋根を超ゆ	H.N	○○○○○	
5-3	若緑を 求めて山道 俳句会	H.Y	○	
6-1	菜の花や 母と歩いた 幼き日	M.S	○	
6-2	目黒川 遅き花見を 車窓から	E.T		
6-3	春霞 はるか影追う 電波塔	H.S	○○	
7-1	見上げれば 空は見えない 花見かな	A.T		
7-2	酣(たけなわ)を 眠りゐる人 花見酒	H.N		
7-3	花見舟 久しき友と 酌み交わす	K.O		
		詠人は7人	選者は8人	